

症例報告

日本語表題

二酸化塩素ガス吸入による化学性肺炎を来した一例

全著者名

内藤大貴，川口紘矢，中山剛，丸山広高，山根宏美，安道誠

筆頭著者・共同著者の所属

熊本労災病院 呼吸器内科

要旨

症例は20歳男性．製紙工場で勤務中に二酸化塩素の配管が破損し，背中に二酸化塩素の溶液を浴びた．その後呼吸困難，咳嗽，咽頭痛が出現し救急搬送された．来院時には酸素5 L/分を要する呼吸不全があり，CTで全肺野にすりガラス陰影を認めたことから，二酸化塩素ガスの吸入曝露による化学性肺炎と判断した．ステロイドミニパルス療法，気管支拡張薬吸入で症状は改善傾向となり，入院6日目に自宅退院となった．二酸化塩素による化学性肺炎の報告は少ないが，除菌，漂白など多方面で使用頻度が増しており，注意する必要がある．

キーワード：二酸化塩素，吸入，化学性肺炎，反応性気道機能不全症候群

Key Words

Chlorine dioxide , Inhalation , Chemical pneumonitis , Reactive airway dysfunction syndrome

短縮タイトル

二酸化塩素ガス吸入による化学性肺炎